

(3) 移動手段の手当てが地域づくり・活動に与える福祉的効果の検証について(報告)

1 経緯

令和5年10月、内閣府がSIP第3期/スマートモビリティプラットフォームの構築「移動手段の手当てが地域づくり・活動に与える福祉的効果の検証」事業を委託する一般社団法人医療経済研究機構・社会保険福祉協会医療経済研究機構より依頼があり、町は協定を締結し、高齢者を対象に移動支援を導入し社会参加を促進することで要介護認定や介護給付費を削減が可能であることを検証する事業を協働で進めることとなった。

2 進捗状況

主催：内閣府（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構ロボット・AI部）

期間：令和5年12月1日～令和10年3月31日

モデル地域：北海道池田町、千葉県松戸市、静岡県藤枝市、函南町

内容：SIP第3期/スマートモビリティプラットフォームの構築「移動手段の手当てが地域づくり・活動に与える福祉的効果の検証」

地域に出向き、住民の合意形成により住民主体の移動支援の仕組みをつくり、高齢者の移動支援により、社会参加を促進することが、介護予防に効果があることを検証する。

ロジックモデルの作成、協働で地域課題を解決する取り組み、介護保険における介護予防の取り組み等を協働で行う。

進捗：令和7年4月1日より、内閣府より委託を受けた（株）日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部と協定を締結し進めている。

- ・函南町のモデル地区（介入群のみ移動支援を手当する）

介入群：パサディナ、ダイヤランド、エメラルド、城山

対照群：畑毛、柿沢台、宝蔵台、白道坂、ヒューマンヒルズ

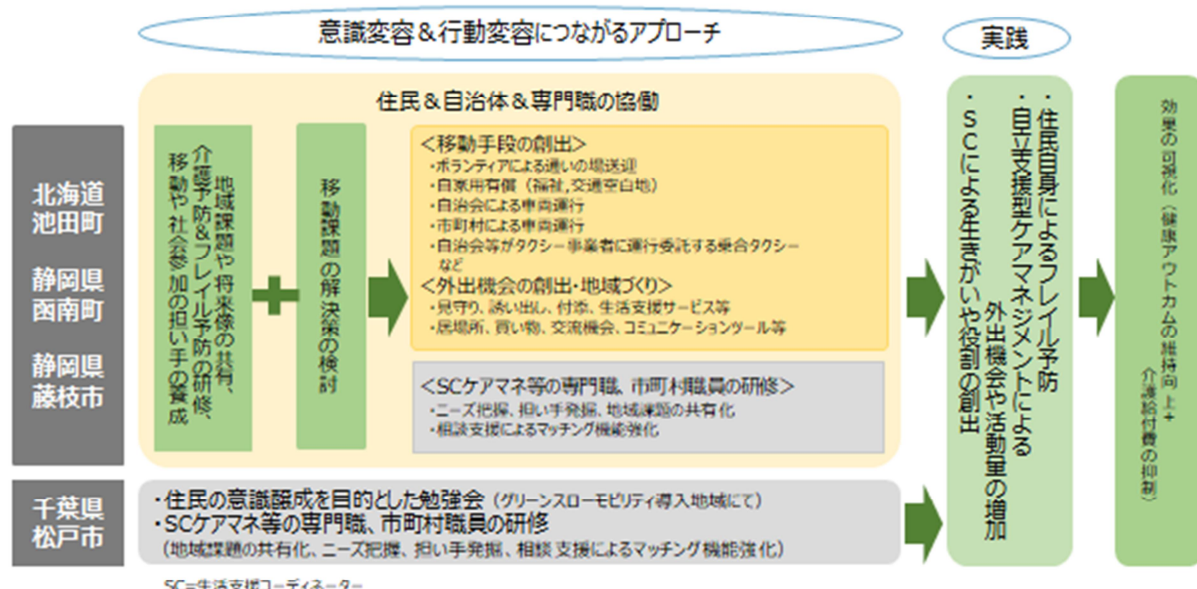
- ・5月、6月、地域に出向き、フレイル予防の必要性について啓発
- ・8月運転ボランティア養成講座開催
- ・10月頃より、移動支援の導入予定

仮説



移動手段を活用したケアプランにより、利用者の交流や社会参加が増え、
要介護認定や介護給付費の削減につながるのでは？

研究開発内容



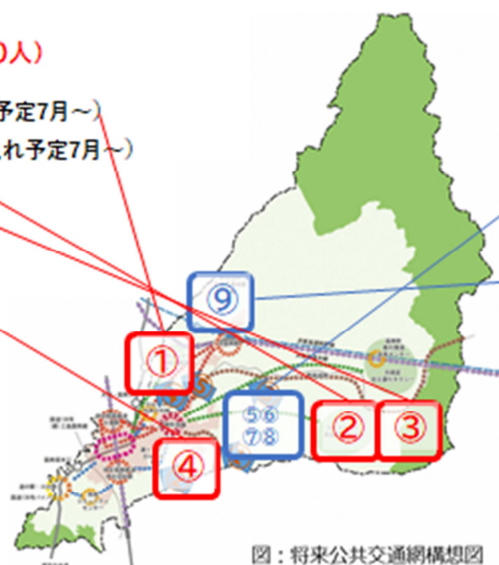
函南町_介入地区・対照地区

介入地区(調査対象150人)

- ①パサディナ (組入れ予定7月～)
 ②ダイヤモンド (組入れ予定7月～)
 ③エメラルド
 ④城山

対照地区
(調査対象150人)

- ⑤畑毛
 ⑥柿沢台
 ⑦宝蔵台
 ⑧白道坂
 ⑨ヒューマンヒルズ



図：将来公共交通網構想図

出典：令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（及び地域公共交通計画の評価結果） 概要（全体）函南町地域公共交通会議資料

介入地域における移動手段

13

地区	既存の移動手段	提案イメージ	手段	備考
介入地区	パサディナ 高齢者福祉交通システム「パサディナ号」 * 火・金、6のつく日運行 * 町による自主運行事業補助事業	・月、水、木、土日の外出 ・フレイル高齢者の個別対応の拡充	・個別対応分（増便）の経費負担 （カーシェア活用も提案は可能）	・居場所「パサディナわの会」第3木曜日（1000～1130）
	ダイヤモンド ダイヤモンドシャトルバス * 管理センター契約者専用			・ダイヤモンド内のサークル活動活発
	ダイヤモンド ダイヤモンド暮らしの応援隊	・フレイル高齢者の個別対応（現行の活動の拡充）	・個別対応分（増便）の経費負担 （カーシェア活用も提案は可能）	
	エメラルド エメラルドタウンバス * 伊豆エメラルドタウンのオーナー専用 管理組合員であること、乗車の際にカード提示			・区内（伊豆の国市区域）に移動スーパー
	城山 拠点循環コミュニティバス * 最も近い停留所「わかさ共同作業所」 * 片道1乗車大人300円			・城山区内にはコミュニティバスは走らないため、フレイル高齢者の坂道移動には課題 ・いきいきサロン休止 ・居場所「カフェ城山」
		・フレイル高齢者の個別対応	・カーシェア活用による移動（パサディナ方式の提案）	
		・フレイル高齢者の個別対応	・カーシェア活用による移動（パサディナ方式の提案）	